



平成23年11月4日

各位

上場会社名 株式会社マルイチ産商
 代表者 代表取締役社長 社長執行役員 井崎 俊彦
 (コード番号 8228)
 問合せ先責任者 取締役執行役員 企画・管理部門統括 白井 幸男
 (TEL 026-285-4101)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	74,500	43	233	119	5.16
今回修正予想(B)	75,338	133	339	162	7.07
増減額(B-A)	838	90	106	43	
増減率(%)	1.1	210.6	45.6	36.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	74,532	△40	156	69	3.00

修正の理由

当第2四半期累計期間につきましては、東日本大震災による電力供給の制約、原子力災害の影響等に加え、円高の長期化、世界的な景気後退など、予断を許さない状況が継続しています。

このような状況のもと、当社グループは今期からスタートした中期経営計画「Cキューブ-2013」に基づき、生鮮を基軸としたフルラインの強みを活かし、小売業の店頭の活性化を目的とした提案営業を積極的に推進するとともに、ITを活用した業務効率化の推進と、管理費を中心としたコスト削減を進めてまいりました。

主力である水産事業では東日本大震災による影響を、当社の調達機能および商品開発の推進により最小限に留めるとともに、畜産事業およびフードサービス事業が計画以上に伸長したことから売上高は増収となりました。一方、利益は仕入価格の上昇分を販売価格に転嫁できなかったことから利益率の低下を余儀なくされましたが、管理費の削減が奏功し、営業利益、経常利益、四半期純利益は当初予想を大きく上回る見込みとなりました。下半期につきましては、依然として不透明な経営環境が継続することから、通期の業績予想の変更はございません。

※上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成しておりますので、実際の業績は、今後様々な要因によって予想と異なる結果となる可能性がありますことをご承知おきください。

以上